

## ラットを用いた28日間反復投与毒性試験

### 要 約

ショウキT-1PLUS タンポポ茶を検体として、ラットを用いた28日間反復投与毒性試験を実施した。

高用量投与群、低用量投与群及び溶媒対照群の3群を設定し、それぞれ20及び10 mL/kgの検体並びに溶媒対照として注射用水を1日1回、28日間経口投与した。各群には雌雄ラットを6匹ずつ使用した。

試験期間中は一般状態観察、体重測定及び摂餌量測定を行った。剖検時には血液学的検査、血液生化学的検査並びに主要器官の重量測定、肉眼的検査及び病理組織学的検査を行った。

その結果、いずれの群においても投与期間を通して死亡例及び一般状態の異常は認められず、体重、摂餌量、血液学的検査及び器官重量に群間で差は認められなかった。また、血液生化学的検査、肉眼的検査及び病理組織学的検査においても、検体投与の影響と思われる変化は認められなかった。

したがって、本試験条件下において、検体は明らかな全身毒性は発現せず、検体投与による無毒性量は雌雄ともに20 mL/kg/日と考えられた。

### 依 頼 者

株式会社 徳潤

### 検 体

ショウキT-1PLUS タンポポ茶

### 試験期間

2011年01月21日～2011年05月16日

### 試験実施施設

財団法人 日本食品分析センター 千歳研究所  
北海道千歳市文京2丁目3番

### 試験責任者

財団法人 日本食品分析センター 千歳研究所  
安全性試験部  
服部 秀樹